

JACCRO 短期海外派遣 (ASCO GI 2011) 参加報告

旭川医科大学 消化器外科・一般外科

長谷川 公治

この度、JACCRO 短期海外派遣制度により、サンフランシスコで開催された ASCO GI 2011 に参加させていただきました。小生にとって、ASCO GI を含め海外での学会への参加は今回が初めてであり、会場での受付や移動など多くの不安を抱えての出発でした。しかし本会は消化器領域の腫瘍に的を絞ったシンポジウムであるためプログラム構成が非常にシンプルで、会場も口演とポスター発表の 2 会場に絞られていたため、移動の心配など不要で演題内容に意識を集中することができました。また、日本からの参加者が多かったことにも勇気づけられました。

サンフランシスコは年を通じて寒暖の差が小さく比較的温暖な気候であり、また会期中の天候にも恵まれたため、真冬の北海道から出かけた身としては非常に快適に過ごすことができました。

胃癌領域の発表として注目したのはやはり START 試験 (GC-03) の結果でした。残念なことに主要評価項目の OS での優越性が証明されませんでした。TTP では DOC+S-1 群が有意に上回っており、また同群の MST は SPIRITS 試験の S-1+CDDP 群とも遜色なく、腎機能低下症例などにおいては外来ベースで施行可能な治療として、選択肢となり得るのではと思われました。

今回、このような貴重な学会への参加の機会を与えて下さった JACCRO の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、現在進行中の GC-05 参加施設として、引き続き微力ながらご協力させて頂きたいと存じます。